

## 令和元年度 第1回 三朝町子ども・子育て会議 議事録

- 1 日時 令和元年8月27日(火) 午後7時～午後8時20分
- 2 場所 三朝町役場 第4会議室
- 3 出席者 【委員】大丸倫裕、平井研、河原拓、杉本暁子、向井由里子、倉持美紀子、山涌加代子、山田敬子、岩佐正巳、深田美鈴、小椋真智子、布広覚、藤井和正、新寛、山中恵子  
【町】町民課：岩山係長
- 4 欠席者 【委員】松原万里子

(敬称略)

### 5 内容

#### I 開会

#### II あいさつ(会長)

#### III 議事

##### (1) 子ども・子育て支援事業計画進捗状況の点検・評価について(H30実績)

###### 事務局説明

会長：ただいま事務局から進行管理状況について説明を受けました。皆様からの質問はございませんか。

会長：子育て家庭支援ということで学童クラブの1年生から3年生まで、4年生から6年生までと分けてありますが、理由はありますか。

委員：おそらくですが、もともと1年生から3年生までの児童を対象に学童クラブの受け入れを行っていたのですが、それを6年生までに広げたということで表を分けて管理していると思われます。

会長：わかりました。ひとつの表でいいのではと思いましたので、検討してみてください。

委員：補足ですが、よその市町では4年生からは学童クラブの対象にしないところもありますので、分けたほうがわかりやすい(比較しやすい)のかなと思っています。

会長：学校は、1年生から6年生まで一緒なので分ける必要があるのかなと思いました。

委員：検討します。

委員：利用者支援に関する事業ですが、評価結果のメール配信サービスの登録率が28パーセントとありますが、何に対する割合でしょうか。

委員：保育園に入るとそこから情報を得ることができますが、未就園児(の保護者)と町外保育所を利用されている方にはメール配信で情報提供しているところで、その世帯に対する割合となっています。

会長：未就園児などの世帯に三朝町の子育て情報を伝えたいが、希望者が少ないということですか。

委員：そうです。

委員：一時預かり事業についてですが、計画値は平成27年から変わっていませんが、実

績が平成28年から見込を超えてきていますが、前年の実績による見直しはされないのでしょうか。

委員：おっしゃるとおりです。31年度の計画値については見直してもよかったのかもしれませんが。検討したいと思います。

会長：計画値は計画作成当初からこのままでしたか。都度見直しをして修正が出来ますか？

委員：その都度ではなくて、平成29年度に中間見直しをした結果となっています。次（第2期）の策定時に見直しを図りたいと思います。

会長：平成29年度には見直しの機会があったけれども、計画の数字で来ているということですか。実績が見込みを超えていることについて、現場での問題はなかったですか？

委員：日々の利用者数が増えるのではなく、利用日数が増えるということでした。一時預かりの職員は確保してありますので受入体制としての問題はありませんでした。

会長：ファミリー・サポート・センターについてですが、確保の内容で1か所とありますが、どこにありますか？

委員：みささこども園に併設している子育て支援センターにファミリー・サポート・センターを設置しています。

会長：まかせて会員とおねがい会員と関係はなく、そこで預かりをするということですか。

委員：基本的にはまかせて会員の自宅で行います。センターとしては一か所（登録や受付場所として）という意味です。事業の内容としては、病院の送迎などで活用される方が多いです。未就園児で預かってもらいたいという方は、一時預かりのほうで対応させていただいています。

## （2） 第2期三朝町子ども・子育て支援事業計画の策定方針について

事務局説明（意見等なし）

会長：今後、この計画につきましては何回か集まっていただくこととなります。

## （3） アンケート自由記載欄の対応状況及び回答方法について

事務局説明

- ・ポータルサイト「あったかみささで子育て」に傾向等を併せて掲載
- ・紙媒体では、印刷したものを各園、小学校、役場の各窓口（町民課、健康福祉課、図書館、文化ホールなど）に配架し、広報での周知を提案する。

会長：3月の会議の時の委員からの提案でしたね。

委員：その時に、広報や全戸配布での御意見もありましたが、説明した方法がいいのではないかという提案です。

会長：結果を置いてあることの周知もお願いします。

## （4） その他

委員：現在、保育施設のあり方検討会でみささこども園の指定管理の方向なども取り沙汰

されているところですが、この事業計画を展開していく施設として町内3園があるわけですが、指定管理で素晴らしい・特色のある保育を展開されていることは認めるわけですが、ただ、直営の公立園として地に足のついたといたらあれですが、できるだけ受け入れに向けてやってきた公立園が担うところが、事業計画の展開に影響を与えるところがあるのかなというところを直接はこの会に関係はありませんが、皆さんに伝えてお知らせしたいというところでした。

会長：いまおっしゃったことは、この会で扱う議事ではないと考えます。(おっしゃった内容が) 事業を展開していくことに支障はないと考えます。

委員：直営の施設がなくなった場合に計画の数値がどうなるのかというところも考慮していく必要があるのかなと。

会長：数値というのは？

委員：実績(の部分)

会長：実績というのは、その時のそれなりの数字なので。

委員：あくまでも推測ですが、指定管理なので町が責任を持たないという言い方ができるのかもしれませんが、

会長：そこは「責任を持たない」という言い方はされていません。(保育施設のあり方検討会について) ちょっと話をさせていただきます。今の三朝町の行財政を考えたときに、保育施設のあり方はどうあるべきかということで、町長さんから諮問がありまして、この検討会が本年度立ち上げられて、近々答申案を事務局のほうでまとめているところでありまして。これまでに5回開催されており、第1回は現状と課題について、第2回は町内保育施設の視察、第3回は想定されるケースについて検討、第4回は第3回の内容を深めた検討を、第5回は小規模である竹田保育園についてのさらなる検討を行ってきたところです。

#### IV その他

事務局から幼児教育・保育無償化について説明

閉会(20:20)